

ごあいさつ

琉球王国時代の高貴な『うとういむち』（おもてなし）を甦らせることを理念に、これまでに無かった「琉球伝統芸能＝宮廷芸能」だけにこだわり、少人数・小空間を基にした上質な琉球芸能を提供するための事業と人材育成を行う『一般社団法人 琉球伝統芸能デザイン研究室®』を2019年4月設立いたしました。コンセプトは「琉球伝統芸能の新しい“カタチとデザイン”＝ 伝統と革新」です。性別を問わず「琉球伝統芸能のプロ」を育て、「琉球伝統芸能」を次世代に繋げていくことに尽力して参ります。

代表理事 山内 昌也 (Masaya Yamauchi)
琉球古典音楽野村流音楽協会師範／琉球古典音楽湛水流保存会師範
国指定重要無形文化財「琉球舞踊」（歌三線）保持者
沖縄県指定無形文化財「沖縄伝統音楽湛水流」保持者
沖縄県立芸術大学音楽学部教授

設立の想い

「琉球」は王国時代、独自の文化を築き上げ、特に東アジアを中心とした諸外国との交易により格式高い数多くの「食」「酒」「芸能」「工芸」が磨き上げられました。その後、歴史的な背景からそれらは大衆化されましたが、現在に至るまで沖縄人のアイデンティティーとして生活の一部となっており、その「心」が、2019年5月20日に文化庁より認定された『日本遺産』と考えます。

「琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な『琉球料理』と『泡盛』そして『芸能』」が認められたことは、誠にもって喜びに堪えません。近年国内外から「ホンモノ」を求める声がさらに高まりつつあり「文化芸術の発信」がどうあるべきかが問われています。

琉球伝統芸能デザイン研究室では、琉球王国時代に築き上げられた伝統芸能の単なる復元・再現ではなく、「踊奉行」（うどういぶぎょう＝国家公務員）の理念を基に 芸術的価値の高みを見いだすための「美学」と「哲学」を構築し次世代へ繋ぐべく「琉球伝統芸能の新しいカタチとデザイン」によるイノベーションを図りたいと思った次第です。

組織

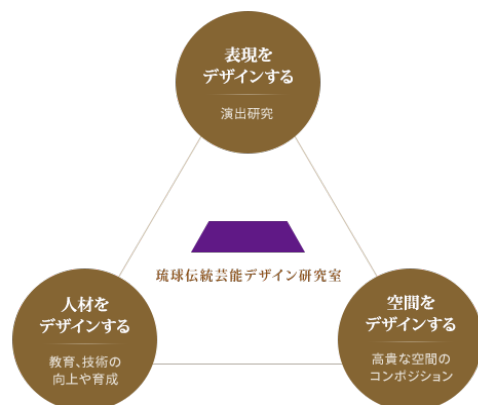
法人名	一般社団法人琉球伝統芸能デザイン研究室® Ryukyu Traditional Performing Arts Design Lab
設立日	2019年4月19日
所在地	沖縄県立芸術大学 山内昌也研究室（沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地）
代表理事	山内 昌也 琉球古典音楽野村流・湛水流師範／沖縄県立芸術大学教授 国指定重要無形文化財「琉球舞踊」（歌三線）保持者 沖縄県指定無形文化財「沖縄伝統音楽湛水流」保持者
理事	花城 良廣 一般財団法人沖縄美ら島財団 理事長 下地 芳郎 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 会長 高良 倉吉 国立大学法人琉球大学 名誉教授・文学博士 比嘉 康春 沖縄県立芸術大学 名誉教授・第七代学長 西大八重子 南の島のフィニッシングスクール西大学院 学院長
監事	福地 敬 一般財団法人沖縄美ら島財団 事務局次長
事務局長	平賀 和明
サイト	https://ryu-design.or.jp/



『デザイン』と目指す姿

少人数・小空間を基にした上質な琉球芸能に必要な“3つのデザイン”に取り組み「琉球伝統芸能のプロ」育成を通じて 次世代に繋ぐ流れの活性化を目指します

- ①琉球伝統芸能のプロを育成しステイタスを確立
- ②沖縄県立芸術大学等で学んだ才能を活かす雇用創出
- ③動きを示す事で次世代に繋ぐ流れを活性化



これから

「 $0 \times 1 = \infty$ 」が琉球の古の先人たちが作り上げた「美」です。
先人たちは、様々な要素を国内外から取り入れ、自分達で磨き上げ伝承してきました。
今度は我々が琉球の「美」についての「哲学」を論じ、次世代に残していくべきだと感じます。
一般社団法人 琉球伝統芸能デザイン研究室は、県内外での活動を積み上げる事で、これまでに類の無い「琉球伝統芸能のカタチ」の構築を目指します。

演者会員

■歌三線

山内 昌也

琉球古典音楽野村流音楽協会師範／琉球古典音楽湛水流保存会師範
国指定重要無形文化財「琉球舞踊」（歌三線）保持者
沖縄県指定無形文化財「沖縄伝統音楽湛水流」保持者
琉球古典音楽野村流保存会師範／琉球古典音楽湛水流保存会師範
琉球古典音楽野村流音楽協会師範
琉球古典音楽安富祖流絃聲会師範
琉球古典音楽野村流音楽協会教師／琉球古典音楽湛水流保存会教師

仲村 逸夫
内間 安希
大城 貴幸
佐久本 純

■琉球舞踊

西村 綾織
永山玲緒奈
又吉 聖子
謝名堂奈津

玉城流喜納喜利の会師範
柳清本流和華の会師範
玉城いずみ会師範
宮城本流鳳乃會教師



※準会員：

山内真貴子、中村優希、照屋綺恵、大城希里、
伊波留依、高里風花、琉球舞踊「六花」



賛助会員

趣意に賛同頂ける法人様・団体様・個人様を募集させて頂いております。

- ・会員種別 法人賛助会員・個人賛助会員
- ・対象 文化・芸術活動支援として 趣意に賛同頂ける県内外の法人様・団体様・個人様
- ・会費 (法人) 10万円／口 (個人) 1万円／口 一口以上 ※年会費（年度決算は3月）
- ・特典（法人）
 1. 琉球伝統芸能デザイン研究室の活動内で告知させて頂きます
 2. 定期公演・特別公演へご招待させて頂きます
 3. 5口以上の法人賛助会員様には、ご要望に応じて事務所等へ出向いての「特典出張公演」をさせて頂きます。（1回／年度）

※公演場所が沖縄県外の場合は交通費を別途申し受けます

主な取組（上演）

1) 社会貢献

- ・那覇市文化財課様等と連携させていただき、社会貢献活動として定期的な上演を実施
- ・次世代に繋ぐ人材育成の側面もあり、準会員も含めた演者が演奏／演舞

○世界遺産 国指定特別名勝「識名園」での奉納



○世界遺産 「玉陵」での奉納



2) 主催公演

- ・「琉球の美」と題し、伝統芸能だけの上演に加え、琉球料理を組合わせた上演等を定期開催

○「首里城で感じる ホンモノのモノ」@首里城

※2022年度は「首里城を感じるホンモノのモノ」として沖縄県立博物館美術館にて11月開催



○琉球料理「美栄」様にて琉球料理と共に ：琉球王家の料理に所縁のある琉球料理の料亭という特別な小空間



3) 受託公演

- ・コロナ禍でも実施できる本物コンテンツとして、行政機関／団体／LUXホテル様等との連携拡大

○ハイアットリージェンシー瀬良垣アイランド 沖縄様：15年連続三ツ星の神田シェフとコラボ



○星のや沖縄様：うとういむち滞在



○世界遺産サミットエクスカッション



○富裕層 FAMトリップ



○OCVB様 沖縄観光新春の集い



1) 首里城破損瓦活用『Una-』プロジェクト (2020年8月)

- ・首里城の復興に向け沖縄県様が募集された「首里城破損瓦等利活用アイデア」に採択
- ・首里城破損瓦を練り込んだ超肉薄の新素材ハイブリッド・プレストレスト・コンクリート (HPC沖縄) にびんがたデザインを組合わせた演奏舞台。首里城焼失から1年目の10月31日世界遺産「玉陵」で初演



首里城破損瓦・琉球びんがたデザインと 最新 建築技術の融合

2) グッドデザイン賞 (2020年10月)

- ・当法人での取り組みを評価いただき、「2020年度グッドデザイン賞」を受賞
無形の伝統的な古典芸能としては 沖縄だけでなく“全国でも初の受賞”



■審査員の評価(コメント)

伝統芸能は地域や民族のアイデンティティを形成するひとつであるが、保存継承という点で大きな課題を抱えている。人材不足・後継者育成に対して解決策が見つかりにくい中、この取り組みの体験する側の視点を持って一歩を踏み出した点を評価した。
小空間で、音楽奏者と踊り手のみによりもてなされる、この特別で上質な時間をいつか体験してみたい。

3) おきなわSDGsパートナーズ登録 (2020年10月)

- ・2019年に策定された「沖縄県SDGs推進方針」に則り、SDGsの普及活動を行う企業・団体として「おきなわSDGsパートナー」に登録



①性別を問わない「琉球伝統芸能のプロ」育成

- 「 4 = 質の高い教育をみんなに」
- 「 5 = ジェンダー平等を実現しよう」

②琉球王国時代に構築された「琉球伝統芸能」を次世代へ繋ぐ

- 「 3 = すべての人に健康と福祉を」
- 「 9 = 産業と技術革新の基盤をつくろう」
- 「 17 = パートナリシップで目標を達成しよう」



4) 琉球びんがた・琉球料理との包括提携 (2021年10月)

- ・琉球王国時代の理念と美の追求として、《琉球の美》「伝統」と「革新」によるイノベーションに取り組むべく、(一社)琉球びんがた普及伝承コンソーシアム・(一社)琉球料理保存協会と包括連携を締結。最初の具体取組として「琉球の美」首里城で感じる“ホンモノのモノ”を実施



一般社団法人
琉球びんがた普及伝承コンソーシアム



一般社団法人
琉球料理保存協会